

株主通信

2026年11月

YBHD NEWS No.72

株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード:5911



株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに株主通信「YBHD NEWS」第72号をお届けいたします。

当中間連結会計期間は、ビーアールホールディングスの連結子会社化による大幅な増収に加え、システム建築・エンジニアリング・先端技術の各事業も堅調に推移し、増収に寄与いたしました。一方、エンジニアリング事業の大幅な増益があったものの、橋梁事業が伸び悩んだことと買収関連費用の計上等により減益となりました。受注は、システム建築・エンジニアリング・先端技術の各事業が伸長し、橋梁事業の減少分をカバーして前年並みの水準を確保しております。下期に多くの橋梁の応札案件を予定しているため、今後受注を積み上げてまいります。

現在、当社グループが注力領域として掲げておりますのは、インフラ老朽化、防災・国土強靱化、電力・ＧＸ、ＡＩ・半導体、港湾ロジスティクス、防衛産業です。これらは構造的な社会的要請を背景としており、中長期にわたる安定的な需要拡大が見込まれます。当社グループの最大の強みは、これらの成長市場に対して単一の事業部門にとどまらず、グループ横断の複合的なソリューションで応えられる点にあります。匠の技として培ってきた鋼構造の技術と新たに加わったPCの技術を競争力の源泉として、注力領域の需要に対してグループ一体となって対応してまいります。

株主還元につきましては、中間配当を前年同期から５円増配となる１株当たり65円とし、年間配当は130円を予定しております。引き続き累進配当と機動的な自己株式の取得を実施し、株主の皆様への積極的な利益還元と資本効率の向上に努めてまいります。今後とも倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年11月

代表取締役 社長執行役員 中村　譲

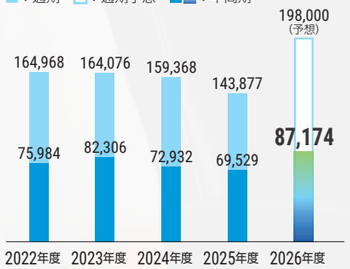
連結財務ハイライト

Financial Highlights

売上高

(単位：百万円)

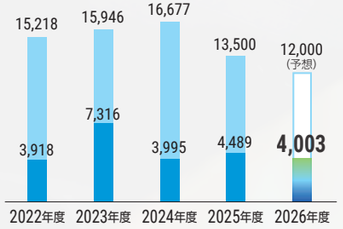
■：通期 □：通期予想 ■■：中間期



営業利益

(単位：百万円)

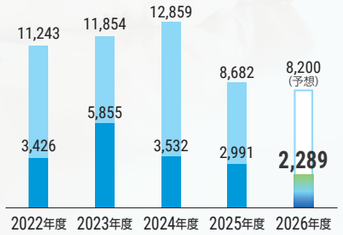
■：通期 □：通期予想 ■■：中間期



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

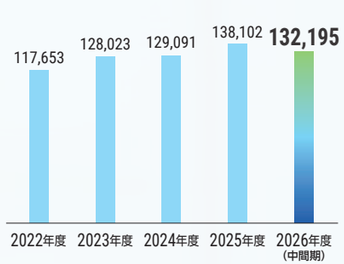
■：通期 □：通期予想 ■■：中間期



純資産

(単位：百万円)

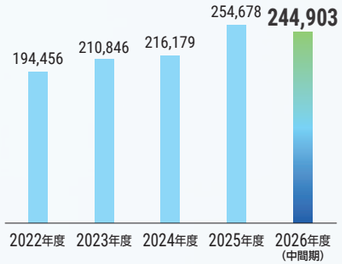
■：通期 ■■：中間期



総資産

(単位：百万円)

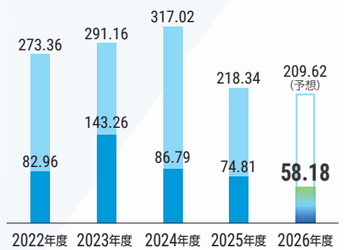
■：通期 ■■：中間期



1株当たり当期純利益

(単位：円)

■：通期 □：通期予想 ■■：中間期

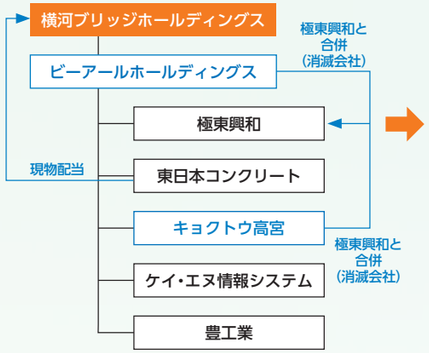


Topics 01 ビーアールホールディングスとのシナジー

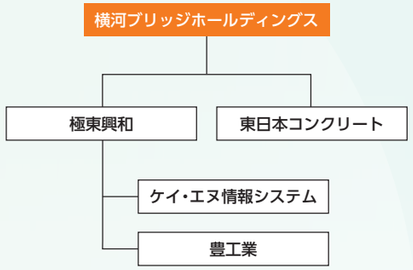
新グループ体制が始動

当社グループは、2026年3月にグループへ加わった株式会社ビーアールホールディングス(以下、BrHD)とのシナジーを早期に最大化するため、2026年10月1日付でグループ組織を再編しました。本再編では、極東興和株式会社を存続会社としてBrHDおよびキョクトウ高宮株式会社を吸収合併すること等により極東興和株式会社と東日本コンクリート株式会社が当社の直接子会社となりました。

変更前(旧体制)



変更後(新体制)2026年10月~



鋼とPC(プレストレストコンクリート) 双方の技術を活かした施工

本工事は、高速道路の大規模更新事業の一環として、損傷が進んだ既設床版(車両を直接支える部分)を、工場製作のプレキャストPC床版に取り替えるものです。床版を支える鋼構造物の製作・架設・撤去も伴うため、極東興和株式会社と株式会社横河ブリッジが共同企業体(JV)を組成して施工を進めています。

鋼橋とPC橋の双方の技術と施工体制を有することは、これからの橋梁市場における当社グループの大きな強みです。この強みを活かし、第7次中期経営計画に掲げる「総合橋梁エンジニアリング事業」の展開を着実に進めてまいります。



▲極東興和㈱と㈱横河ブリッジの現場職員

令和5年度 九州自動車道(特定更新等)若宮橋床版取替工事



▲若宮橋床版取替工事の様子

Topics 02 グループブランディングプロジェクト

前号(No.71)でご紹介したブランドの合言葉(タグライン)「人と未来をブリッジさせる。」とその想い(ステートメント)の世界観を表現する、キービジュアルと新グループロゴが完成いたしました。今後はこの新たなシンボルのもとでグループの結集力を高め、社会と株主の皆様の期待に応える価値創造に邁進してまいります。



キービジュアルコンセプト

夜明けの景色のもとで未来を見つめる生活者を描くとともに、背景の街並みには当社グループ事業のアウトプットである構造物を配置しています。築いてきた歴史を礎に、人々の安全安心で豊かな社会を切り拓く意思を表現しています。

新グループロゴ

「人」と「未来」、そして複数の事業会社を象徴する2本のアーチが融合した「YOKOGAWA のY」のデザインに、技術・信頼を示すブルーから夜明けへと移るグラデーションを重ねることで、多様な強みを持ち寄り、グループ一体となって飛躍する姿を表現しています。

横河ブリッジ グループ

ブランドムービー



▲ブランドムービー公開中

ご視聴はこちらから。

Topics 03 観音院回廊改築工事へのチタン屋根材納入

鳥取市の天台宗寺院「補陀落山(ふだらくさん) 慈眼寺(じげんじ) 観音院(かんのんいん)」の回廊改築工事において、チタン屋根材を納入しました。観音院は、江戸時代に鳥取藩主池田光仲の祈願所として建立された由緒ある寺院であり、境内は国指定の名勝庭園としても広く知られています。

本工事においては、意匠や景観との調和に加え、既存構造への負担を抑える材料選定が求められました。採用されたチタンは軽量のため屋根部の荷重低減に寄与するほか、高い耐食性を有しており、長期にわたり美観と性能を維持することができます。

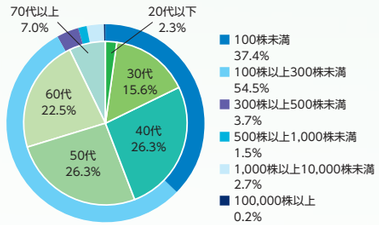
本工事を通じて、地域の貴重な文化資産の保全に貢献するとともに、歴史的建造物に適した新素材の活用という新たな挑戦をしました。今後も、文化財や地域資産の維持・継承に資する提案を行うことで、社会的価値の創出に取り組んでまいります。


▲観音院回廊のチタン屋根

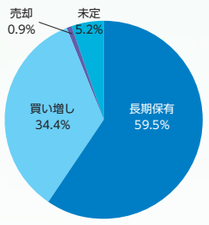
Topics 04 株主アンケート(コエキク)結果のご報告

162期期末株主通信に掲載したコエキクでは829名の株主様にご回答いただきました。頂戴した貴重なご意見は今後の当社の取組みの参考にさせていただきますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申しあげます。

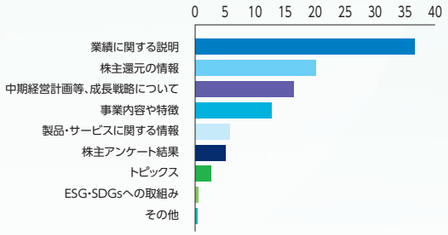
年代・保有株数



保有方針



株主通信に期待する内容



掲載応援コメント
表紙の写真を見て、私が通勤で長年利用していた橋も貴社の工事だったことを思い出しました。橋梁のリーディングカンパニーである貴社に期待しています。

掲載応援コメント
学研まんがでよくわかるシリーズは子供が好きで読んでいます。橋のひみつを共同制作されたとのことで貴社のことを子供に話すきっかけになりました。

役員一覧(2026年9月30日現在)

代表取締役会長	髙田	和彦
代表取締役社長執行役員	中村	譲
取締役常務執行役員	湯川	雅之
取締役執行役員	中岡	康次
社外取締役	黒本	和憲
社外取締役	神野	秀磨
社外取締役	石塚	由紀
取締役常勤監査等委員	新井	隆
社外取締役監査等委員	尾﨑	聖治
社外取締役監査等委員	渋村	晴子
社外取締役監査等委員	梶山	園子
専務執行役員	宮本	英典
執行役員	生越	寿昭
執行役員	髙藤	伸治
執行役員	光田	浩
執行役員	春日井	俊博
執行役員	山根	隆志
執行役員	吉岡	修治
執行役員	古野	潤
技監	石井	博典

株式の状況

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式総数	43,164,802株
株主数	32,542名

大株主(上位10名)

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	5,402	13.67
㈱日本カストディ銀行(信託口)	3,054	7.72
日本製鉄㈱	1,987	5.02
横河電機㈱	1,676	4.24
横河ブリッジホールディングス従業員持株会	993	2.51
JPモルガン証券㈱	774	1.95
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	629	1.59
日本生命保険相互会社	543	1.37
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	537	1.35
JP MORGAN CHASE BANK 385781	449	1.13

(注) 1. 当社は、自己株式を3,647,901株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

統合報告書2026を発行

2026年10月1日に「統合報告書2026」を発行いたしました！本誌を通じて、当社の目指す姿や事業へのご理解を深めていただけますと幸いです。当社ホームページにてご覧いただけます。ぜひご一読ください。



株主メモ

事業年度		毎年４月１日から翌年３月31日まで
基準日	定時株主総会	毎年３月31日
	期末配当	毎年３月31日
	中間配当	毎年９月30日
定時株主総会		毎年６月
単元株式数		100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関		東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先		〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話お問い合わせ先		電話　0120－782－031（フリーダイヤル） 受付時間　9:00～17:00 （土・日・祝日および12/31～1/3を除く）
公告方法		電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL		https://www.ybhd.co.jp/



表紙の写真

広内川橋

所在地：北海道上川郡新得町
鋼　重：550t
形　式：鋼4径間連続少主鈑桁橋

広内川橋は北海道上川郡新得町～清水町に位置し、現在２車線で供用されている道東自動車道の4車線化プロジェクトにおいて十勝清水IC～トマムIC間の下り線に新設した橋梁です。橋梁形式は連続合成少数鈑桁（2主鈑桁）で、橋長221.7m、床版は場所打ちPC床版です。架設はトラッククレーンベント工法で行いました。上部工・下部工検査路には寒冷地の凍結防止剤対策として耐食性に優れた、横河ブリッジの製品であるアルミ合金製検査路「KERO ®（ケーロ）」が採用されています。現在広内川橋付近は開通を目指し工事が進められています。

株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023　東京都港区芝浦四丁目4番44号
TEL. 03-3453-4111（代表）　https://www.ybhd.co.jp/

ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

当社ウェブサイトのご紹介



トップページ



サステナビリティページ

当社事業だけでなく、IRやサステナビリティ、ガバナンスなど、より充実した情報を株主の皆様にお届けしてまいりますので、ぜひご覧ください。

アクセスはこちらから

https://www.ybhd.co.jp/

株主アンケート

みなさまの声を
お聞かせください

https://koekiku.jp
アクセスキー [redacted]

抽選でギフト券を進呈！

サービス運営会社：株式会社プロネクサス
お問い合わせ：コエキク事務局
koekiku@pronexus.co.jp

コエキク